

平成27年11月

関係機関の皆様

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班
東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 教授
研究代表者 呉 繁夫

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班 公開シンポジウムの開催について

深秋の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

これまで当研究は皆様のご協力を賜りながら、東日本大震災を経験した子どもたちとその取り巻く環境について4年にわたり調査を行って参りました。

調査研究の最終年度を迎えた今年度、その結果を、「発育」「メンタルヘルス」「周産期」の3つのテーマにしてご報告するとともに、この成果を少しでも子どもたち未来のために役立てたいと考え、以下の日程でシンポジウムを開催させていただくことといたしました。

つきましてはプログラムをお送りいたしますので、医療、研究領域など専門によらず、広く市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

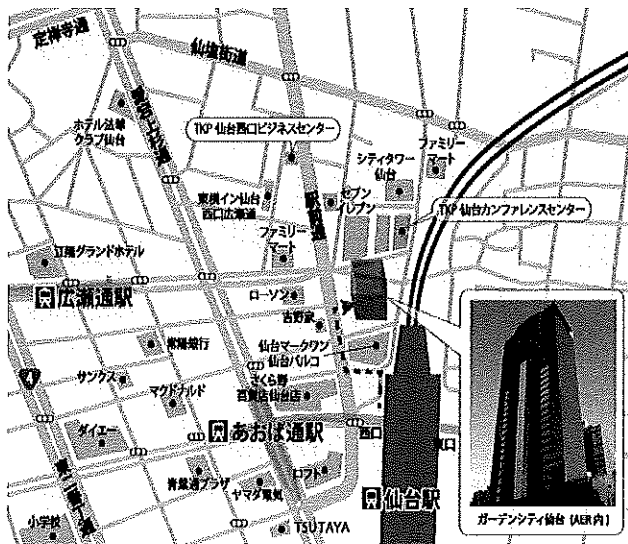
申し込みはプログラム裏面のフォーマットに必要事項ご記入の上、12/10(木)までにFAXでお願いいたします。

末筆ながら、皆さまのご健康とご健勝をお祈り申し上げます。

記

日時 平成28年1月10日(日) 13:00~17:20

場所 TKPガーデンシティ仙台21階Bホール
〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目3-1 (AER内)



以上

【お問い合わせ先】

研究班事務局 (担当 森田、山際)
〒980-8574
仙台市青葉区星陵町1-1
東北大学小児科
TEL 022-717-7289
FAX 022-717-7290

「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」 公開シンポジウム

日時 平成**28**年**1**月**10**日（日）**13:00**～**17:20**

※12:30開場予定

場所 **TKPガーデンシティ仙台 21階 Bホール**

〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目3-1（AER内）

プログラム

《子どもの発育状況に関する研究》

▶ 子どもの身体発育に対する震災の影響

山梨大学大学院 社会医学講座 山縣然太郎 先生

▶ 保育所データから見えてくる乳幼児期の体格変化の特徴

十文字学園女子大学 幼児教育学科 加藤 則子 先生

▶ 東日本大震災後の体格の地域性について

東京大学医学部附属病院 小児科 磯島 豪 先生

▶ 東日本大震災後の子どもの健康状態について

東北大学 災害公衆衛生学分野 栗山 進一 先生

《子どものこころに関する研究》

▶ 被災後の子どものメンタルヘルス

～経時的变化に関するコホート研究を中心に～

国立成育医療研究センター こころの診療部 奥山真紀子 先生

宮城県子ども総合センター 本間 博彰 先生

福島県総合療育センター 増子 博文 先生

長尾こころのクリニック 長尾 圭造 先生

岩手医科大学 神経精神科学講座 八木 淳子 先生

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 藤原 武男 先生

《周産期領域に関する研究》

▶ 災害時にもお産と地域の未来を守るために

—被災地及び全国調査から見えてきた今後の課題—

東北大学 母児医科学分野 菅原 準一 先生

ごあいさつ

東北大学 小児病態学分野 呉 繁夫 先生

FAX 番号:022-717-7290

※平成 28 年 1 月 10 日(日) シンポジウム※

参加申込書

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班 事務局 宛

締切:12/10(木)

以下にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

代表者

お名前(ふりがな)		
ご所属		
ご連絡先	住所 〒	
	電話番号	FAX 番号

参加者

	お名前(ふりがな)	ご所属
1		
2		
3		

※いただいた個人情報は、当シンポジウムの運営のみに使用いたします。

《お問い合わせ先》

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班事務局

東北大学小児科内 担当:森田

TEL 022-717-7289 (月・火・金)